

報道機関各位

山梨県安心安全見守り事業について
(新しい公共支援基金事業)

平成23年10月12日

山梨県安心安全見守りセンター運営協議会

1. これまでの経緯

■平成21年度

「ふれあいペンダントから携帯電話に移行するための実証実験研究会」設置

「ふれあいペンダント」事業が抱えている問題の検証

- ①独居高齢者の増加による利用者の待機状態
- ②装置の老朽化に伴う保守費用の増加
- ③装置誤使用による消防業務(一次窓口)への影響



「見守りセンター」設置により携帯を利用した緊急通報システムが運用できることを報告

■平成22年度

総務省「ユビキタス特区」事業「緊急通報システム(ユビキタス見守りシステム)」の開発と実証実験を受託 ⇒ 「緊急通報システム実証運営委員会」設置

見守りセンターシステムの開発、運用及び実証実験



「ふれあいペンダント」事業の問題を解決し、まったく新しいサービスを提供できることを総務省に報告

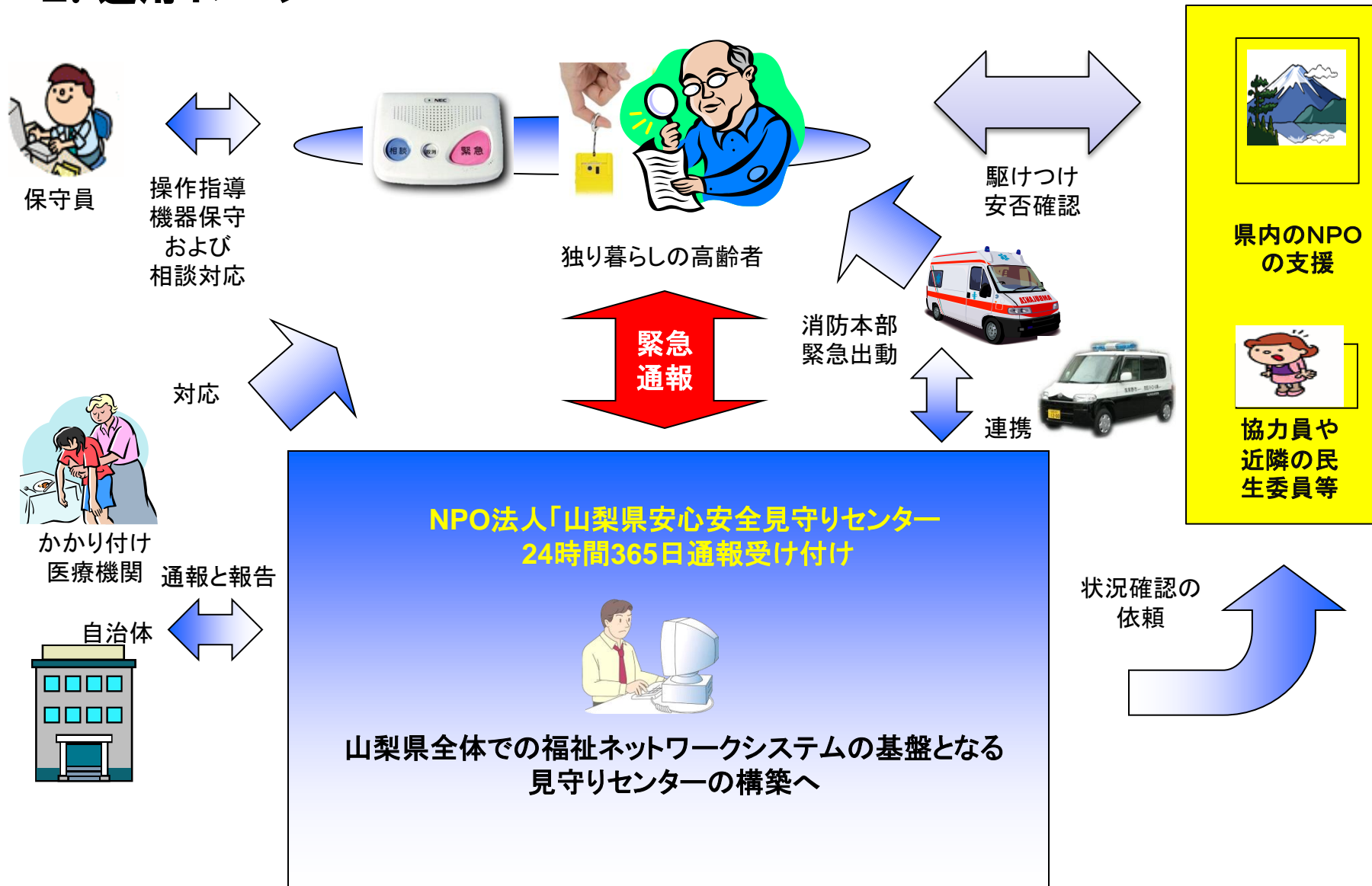
■参加組織 山梨県長寿社会課、山梨県消防防災課、山梨県情報政策課、山梨県警察本部生活安全部、甲府市福祉部高齢者支援室、山梨学院大学、山梨大学、社団法人 山梨県情報通信業協会、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、県内消防本部、県内各市町村

■平成23年度

実施団体として、NPO山梨県安心安全見守りセンターを設立(平成23年8月)

「新しい公共支援基金事業(山梨県企画県民部県民生活・男女参画課)」に応募して採択。

2. 運用イメージ



3. 多様な担い手との連携(将来像)

ふれあい携帯事業では、自宅または居住地以外からの緊急通報が想定される

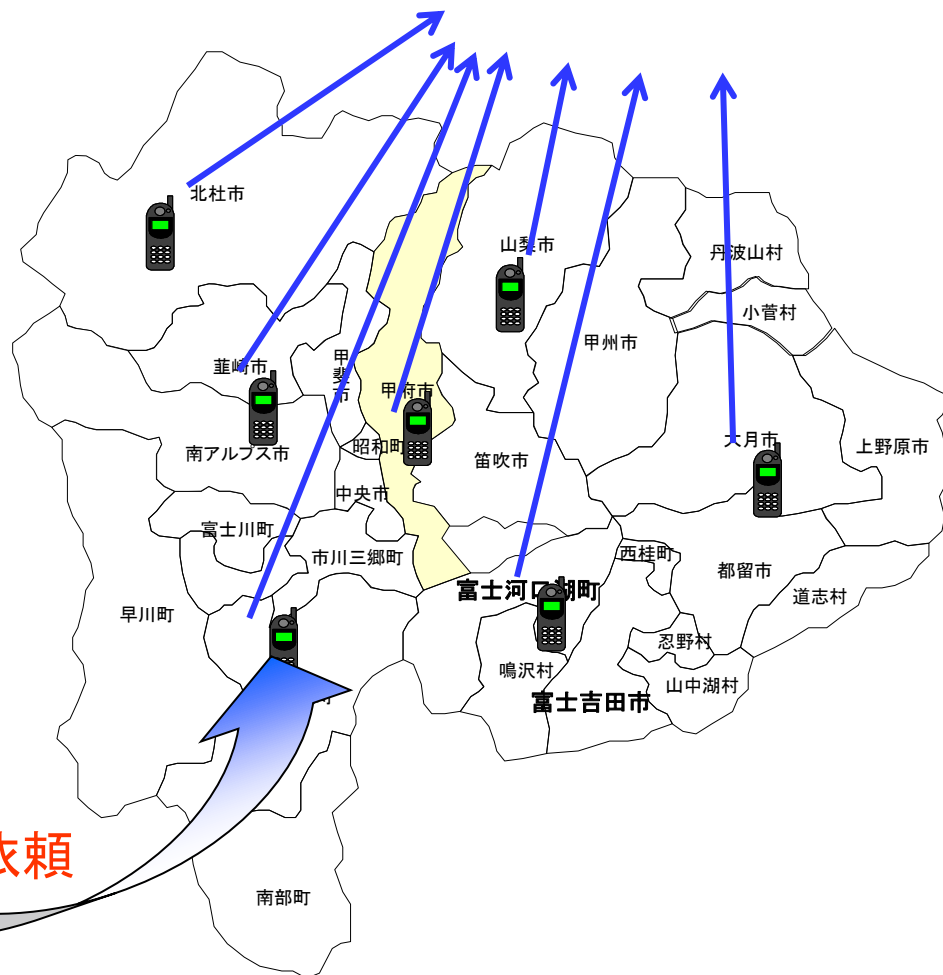
居住地域を前提とした協力者だけでは対応できない

NPOかんむら様等県内全域をカバーできるようNPO様との連携が必須。また、各地区の消防団、みまもりパトロール隊、高齢者向け食事宅配、牛乳配達見守りサービス等(将来的には県外のNPO)との連携も視野



支援依頼

山梨県安心安全見守りセンター



4. 実施団体とスケジュール

➡ 推進体制

山梨県安心安全見守りセンター運営協議会

協議会

特定非営利活動法人 山梨県安心安全見守りセンター
 理事長 飯室 元邦
 副理事長 長坂 正彦、中込 裕
 専務理事 清水 久

山梨県企画県民部 情報政策課
 (情報産業振興室) 課長 伏見 健

アドバイザー会議

(社) 山梨県情報通信業協会
 国立大学法人 山梨大学工学部
 NPO法人 かんむら
 大月市
 山梨県福祉保健部長寿社会課
 各市町村

➡ スケジュール(予定)

区分	年度 スケジュール項目	23年度		24年度	25年度
		4月～9月	10月～3月	4月	4月
ふれあいペンダント	システムの準備	➡			
	通報先切り替え準備		➡		
	運用開始			➡	
ふれあい携帯	運営要綱(案)の作成			➡	
	運用開始				➡

問合先 特定非営利活動法人 山梨県安心安全見守りセンター
 山梨県甲府市中央2丁目13番地の2
 TEL 055-221-8820 FAX 055-221-1851
 事務局 清水、降矢